

ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）

海からはじまる生きた化石教育普及事業

実施期間：2020年6月4日（木）～2020年6月7日（日）



【事業の内容・目的】

- ふくしま海洋科学館（以下アクアマリンふくしま）は、展示構成の一つとして生きた化石を取り上げている。より多くの情報に触れられる機会を増やし、海の生物の神秘について感じてもらうことを通して、海への親しみや海を知る契機となることを本事業の目的とした。
- 館内で生きた化石と本物の化石を展示し、進化について解説している「海・生命の進化」コーナーの生物や化石についての詳しい解説を行うためのオンライン展示解説システムを構築し、職員が同コーナーで来館者に対してアクセス方法を、タブレットを用いて直接解説し、コミュニケーションを取ることで双方向かつ学習効果を重視した「実物展示×解説員×オンライン解説教材」の三位一体による対話型新規学習プログラム構築の第一歩とした。
- 直接職員から使い方を教わることで多様な環境を持っている海の中でどのような条件が生きた化石を現在まで存続させたのかということを考えるようになり、そのような環境を持つ海について学ぶ機会とした。

活動の様子

1. 対話型海の学び新規ワークショッププログラム「海にすむ生きた化石を学ぶ！」のトライアル実施

【開催日時】2020年6月4日（木）～6月7日（日）

11:00～12:00, 13:00～14:00

【開催場所】アクアマリンふくしま 海・生命の進化コーナー

【参加者数】158人

【活動内容・目的】

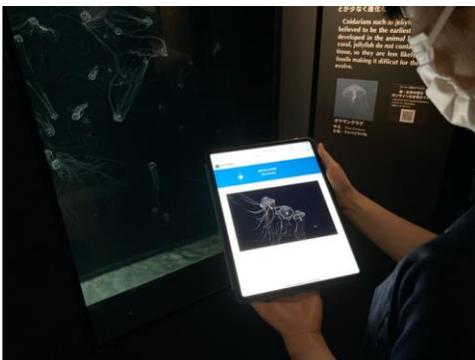
- 生物や化石についての詳しい解説を行うためのオンライン展示解説システムを構築し、職員が同コーナーで来館者に対してアクセス方法をタブレット（iPad）を用いて直接解説し、コミュニケーションを取ることで双方向かつ学習効果を重視した「実物展示×解説員×オンライン解説教材」の三位一体による対話型新規学習プログラム構築の第一歩とした。
- 生きた化石という海の中での進化を考える機会を与え、これからの海の環境がどのように変化し、海の中での進化はどのように起きていくのかということ想像し、海に親しみを持つ機会とした。



開催場所：海・生命の進化



来館者に概要を説明し参加を呼びかける



開場所のコーナー内でしか見られないオンラインガイド



オンラインガイドを使って説明するスタッフ

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。



スタッフから説明を受ける参加者



それぞれの水槽を見て回る参加者



参加者は自らもアクセスして生き物情報を得る



アンケートの回収

展示コーナーでしか見ることのできない展示生物のオンライン解説を設置し、コーナー入口でアクセス方法を説明して参加を呼びかけた。コーナー内ではスタッフが実際にそれぞれの水槽の解説パネルに貼付したQRコードを使ってアクセス方法を説明し、自分たちで興味を持った生き物の情報を得るように促した。加えて、スタッフが適当に参加者に声をかけさらに詳しい説明を行うことで、参加者はより興味を持ち積極的に生き物の情報を得るようになっていた。

参加者からは、「今まで何度も来ているが、初めて生き物の詳しい生態を知り、興味を持った。」、「生き物のことが知れて楽しかった。」という感想が聞かれた。そして、「海の生き物を守りたい」、「海のゴミをなくしたい」といった海洋環境保全への意識が高まった参加者も多く、過去から生きながらえてきた「生きた化石」を学ぶことにより現代の「海の学び」を得たようであった。

【参加者の声】

- 生命の進化が起こった海の県境を大切に守っていきたいと思った。
- 海には様々な生き物がいて決して人間だけのものではないのでうまく共存していくことが大事だと感じた。
- 生き物の水中での過ごし方、見せ方次第でもっと知りたいと思えることを知った。